

リモコンセット 138-R090型



※下記の記載については、熱源機本体の取扱説明書の該当ページも併せてご覧ください。

記 載

本体取扱説明書の項目名

安全・快適にご使用いただくためにぜひお読みいただきたい内容…「安全上のご注意」
 お客様がご使用の熱源機本体の品名・製品のタイプ…「お使いになる前に」
 凍結予防の方法 ………………「冬期の凍結による破損防止について」
 热源機本体の点検やお手入れの方法 ………………「日常の点検・お手入れのしかた」
 長期間熱源機を使用しない場合の対処法……………「長期間使用しない場合は」
 热源機本体の症状別の対処法 ………………「故障かな?と思ったら」
 仕様表・能力表 ………………「主な仕様・能力表」
 アフターサービスや保証、熱源機の修理、移設に関する内容…「アフターサービスについて」

ご愛用の皆さんへ

このたびは大阪ガスのリモコンをお買い上げいただきましてありがとうございます。

- ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みいただき、正しくお使いください。
- ご使用の熱源機本体の取扱説明書も併せてご覧ください。
- 取扱説明書はいつでも使用できるよう大切に保管し、使用方法が分からなくなつたときにお読みください。
- この製品は国内専用です。

もくじ

安全上のご注意	1
各部のなまえとはたらき	3
浴室リモコン	3
台所リモコン	4
お使いになる前に	5
初めて使うとき	5
時計を合わせる／時刻を表示する	6
給湯を使う	7
給湯温度を調節する	7
おふろを入れる	9
自動運転でおふろを入れる	9
予約運転でおふろを入れる	11
おふろに入って操作する	12
おいだきする	12
おふろのお湯をひやす／おふろをぬるくする	13
おふろの設定温度を調節する／台所を呼び出す	14
おふろの設定水位（湯量）を変更する	15
その他の設定（設定変更）	17
音声音量などを変更する（設定変更モード）	17
保温時間などを変更する（設定変更モード）	19
知っておいてください	21
浴槽データの再設定	21
故障かな?と思ったら	22
アフターサービスについて	23

安全上のご注意(必ずお守りください)

■製品を正しくお使いいただくためや、お客さまや他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■以下に示す表示と意味をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

お願い

この表示は本機器を安全・快適に使うため、是非理解していただきたい事例を示しています。

■絵表示には次のような意味があります。



この絵表示は、気をつけていただきたい
「注意喚起」内容です。



火災注意



この絵表示は、してはいけない
「禁止」内容です。



触れないこと



分解禁止



ぬれ手禁止



この絵表示は、必ず実行していただきたい
「強制」内容です。



電源プラグをコンセントから抜く



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

改造・分解禁止



■絶対に改造・分解は行わない

改造・分解は一酸化炭素中毒など思わぬ事故や故障の原因になります。また、火災の原因になります。

やけど防止のため



■出始めのお湯は手や体にかけない

- お湯を止めた後に再使用するときや、お湯の量を急に少なくしたとき、トイレの水を流すなど大量の水を使用して給水圧が下がったとき、あるいは万一熱源機の故障の際には、一瞬熱いお湯が出ることがあります。
- シャワーなどお湯を使う場合、最初に熱いお湯が出ることがあります。やけど防止のため、シャワーはいきなり頭や体にかけないでください。

■給湯使用時は給湯栓が熱くなるのでやけどに注意する

■シャワー・給湯の使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しない

突然、熱湯が出てやけどをしたり、冷水が出て思わぬ事故につながることがあります。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

やけど防止のため



■手のひらで湯温を十分に確認する

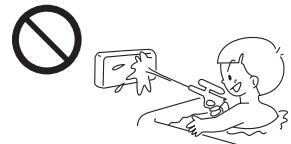
- やけどの予防のため、入浴前に必ず浴槽の湯温を手で確かめてから入浴してください。また、シャワーなどでお湯を使うときもリモコンの給湯温度表示を確認し、手で湯温を確かめてからお使いください。特に高温のお湯を使った後に再使用する場合は、配管中に熱いお湯が残っていることがありますので、特に注意してください。
- おいだき中やおいだき後は、浴槽の上部と下部で湯温に差がある場合があります。入浴時には十分にかきませてから、手で湯温を確認してください。
- 給水温が高い場合やお湯の量を絞って使う場合は、設定温度よりも熱いお湯が出ることがあります。このような場合は湯量を多めにしたり、必要に応じて水を混ぜてから湯温を確認してお使いください。



お願い

■リモコンの取り扱いについて

- 浴室リモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。スピーカーの穴に水膜がはり、スピーカーの音が聞こえにくくなります。また、台所リモコンは防水タイプではありませんので水をかけないようにしてください。故障の原因になります。
- お子さまがいたずらしないよう、注意してください。
- 炊飯器、電気ポットなどの蒸気や温風をあてないようにしてください。故障の原因になります。
- スピーカーに耳を近付けて使用しないでください。大きな音が出ることがあり、聴覚障害などを引き起こすおそれがあります。
- リモコンは乱暴に扱わないでください。故障の原因になります。



■リモコンの設置場所について

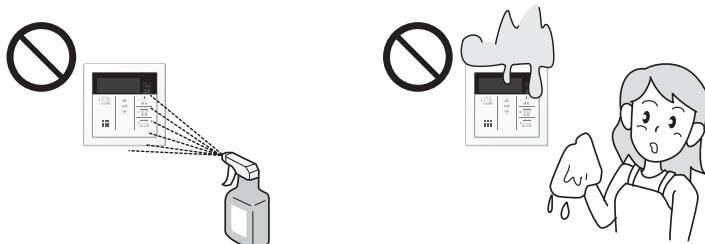
- 室温が55°Cを超えるサウナなどへは取り付けないでください。
(5 ~ 55°Cの範囲で使用してください)
故障の原因になります。
- 浴室リモコンのみや台所リモコンのみでの単独使用はできません。必ずセットでご使用ください。

■リモコンからテレビやラジオを遠ざけてください

- テレビやラジオはリモコンおよびリモコン線から1m以上離してください。
画像や音声が乱れることがあります。

■お手入れの際の注意

- けがには十分ご注意ください。
- みがき粉・シンナー・ベンジン・エタノールやたわしななどの硬いものを使用しないでください。表面の光沢や印刷・文字などが消えたりキズがつきます。
- 台所リモコンに洗剤をかけたり、水洗いしたりしないでください。また、台所リモコンの周りの壁にかけて垂れた洗剤や水はリモコンにかかるないように拭きとってください。リモコンに洗剤や水が浸入して、故障の原因になります。



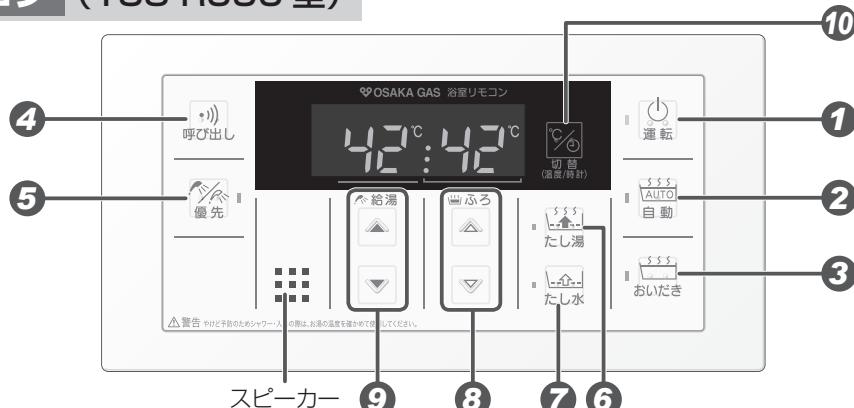
■別売部品について

- 別売部品はお使いの熱源機用のもの以外は使用しないでください。事故や故障の原因になります。

各部のなまえとはたらき

浴室リモコン (138-R090型)

操作部



① 運転スイッチ・ランプ (黄緑)

お湯を出したり、おふろを入れるときに押して「入」にします。

もう一度押すと、「切」になります。

入：黄緑ランプ点灯
切：消灯

② 自動スイッチ・ランプ (オレンジ)

自動でおふろにお湯を入れる（湯はりする）ときに押します。

③ おいだきスイッチ・ランプ (オレンジ)

おいだきするときに押します。

④ 呼び出しスイッチ

押すと台所リモコンのブザーが鳴ります。
このスイッチは運転スイッチが「切」のときでもお使いになれます。

表示部

・表示画面は説明のためのもので、実際の運転状態を示すものではありません。



① 燃焼表示 (オレンジ)

熱源機が燃焼しているときに点灯します。

② 高温表示 (オレンジ)

給湯温度が60°Cに設定されているときに点灯します。
(7ページ参照)

③ 凍結予防表示 (雪だるまマーク)

熱源機が自動的に凍結予防運転を行っているときに表示します。

④ 給湯温度表示・時刻表示

給湯温度の目安を表示します。
(7ページ参照)
現在時刻や予約時刻を表示します。
(6ページ参照)

⑤ ふろ水位表示

おふろの水位（湯量）の目安を6段階で表示します。
(15・16ページ参照)

⑥ ふろ温度表示・湯量表示

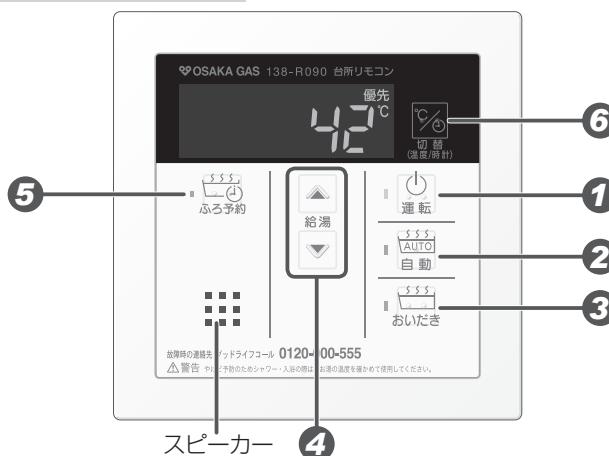
おふろの温度の目安を表示します。
(14ページ参照)
湯はり開始時は、「湯量」表示とともに約10秒間湯はり量を表示します。
(15・16ページ参照)

お願い

- ・スピーカーの穴に水滴が入ると、音声が聞こえにくくなります。
スピーカー部には水がかからないように注意してください。
- ・リモコンの操作は、「ピッ」という操作音を確認しながら、ゆっくり確実に行ってください。
早く操作すると、作動しない場合があります。

台所リモコン (138-R090型)

操作部



①運転スイッチ・ランプ (黄緑)

お湯を出したり、おふろを入れるときに押して「入」にします。
もう一度押すと、「切」になります。
入：黄緑ランプ点灯
切：消灯

②自動スイッチ・ランプ (オレンジ)

自動でおふろにお湯を入れる（湯はりする）ときに押します。（9ページ参照）

③おいだきスイッチ・ランプ (オレンジ)

おいだきするときに押します。（12ページ参照）

④給湯温度スイッチ

給湯温度を変更するときに押します。（7ページ参照）
設定を変更するときにも使います。

⑤ふろ予約スイッチ・ランプ (オレンジ)

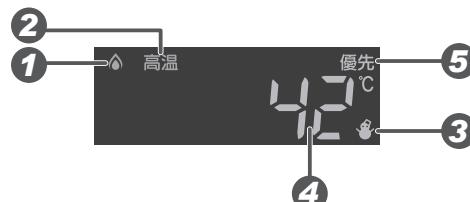
おふろの自動湯はりを予約するときに押します。（11ページ参照）

⑥温度／時計切替スイッチ

温度表示と時計表示を切り替えるときに押します。（6ページ参照）

表示部

・表示画面は説明のためのもので、実際の運転状態を示すものではありません。



①燃焼表示 (オレンジ)

熱源機が燃焼しているときに点灯します。

②高温表示 (オレンジ)

給湯温度が60°Cに設定されているときに点灯します。（7ページ参照）

③凍結予防表示 (雪だるまマーク)

熱源機が自動的に凍結予防運転を行っているときに表示します。

④給湯温度表示・時刻表示

給湯温度の目安を表示します。（7ページ参照）
現在時刻や予約時刻を表示します。（6ページ参照）

⑤給湯優先表示

この表示が点灯中は、台所リモコンでのみ給湯温度が変更できます。（8ページ参照）

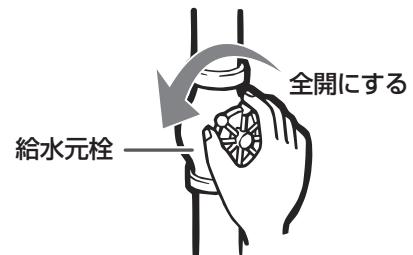
お願い

- スピーカーの穴に水滴が入ると、音声が聞こえにくくなります。
リモコンに水がかからないように注意してください。
- リモコンの操作は、「ピッ」という操作音を確認しながら、ゆっくり確実に行ってください。
早く操作すると、作動しない場合があります。

熱源機が使えるように準備します。

1 給水元栓を全開にする

- 給水元栓は熱源機の下部にあります。



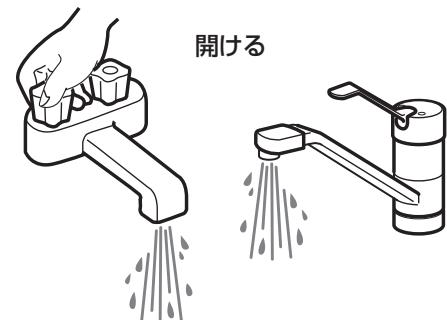
2 水が出ることを確認する

- 台所・浴室・洗面所など、お湯を使う場所のすべての給湯栓を開けて確認します。

※水が出ることを確認したら、給湯栓を閉めてください。

※サーモスタッフ式やワンレバーの混合水栓の場合は、最高温度の位置にした状態で確認してください。

※確認後は使用時の設定温度に戻してください。



3 電源プラグをコンセントに差し込み、分電盤のスイッチを「入」にする

- コンセントは熱源機付近の壁などにあります。

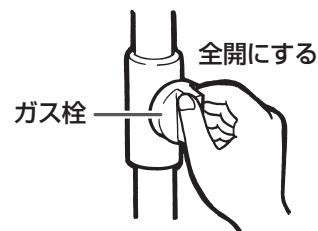


⚠ 警告

- ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。感電のおそれがあります。

4 ガス栓を全開にする

- ガス栓は熱源機の下部にあります。



⚠ 警告

- ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。感電のおそれがあります。

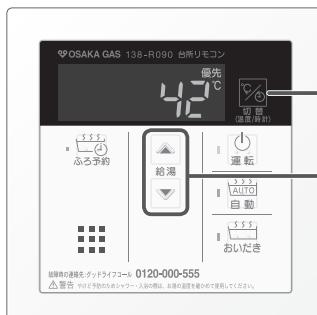
⚠ 注意

- サーモ付きやワンレバーの混合水栓の場合は、再使用時の設定温度にご注意ください。

お使いになる前に

時計を合わせる／時刻を表示する

台所リモコン（時計合わせ、時刻表示）



1 3

2

浴室リモコン（時刻表示のみ）



1

時計を合わせる

●予約運転でお風呂を入れるには、時計を現在時刻に合わせておく必要があります。

●台所リモコンで操作します。

※運転スイッチが「入」「切」どちらの場合でも設定できます。

1



を長押し（約3秒間）する

- ・『現在時刻を設定できます』とお知らせし、『0:00』が点滅します。

2



を押して、現在時刻を設定する

- ・押し続けると、10分単位で進み／戻ります。

3



を押す

- ・『設定しました』とお知らせし、現在時刻が設定されます。

お願い

- ・現在時刻が設定されていない状態や停電の後および電源プラグが抜けた場合、「- : - -」になります。時計を合わせてください。
- ・午前（AM）と午後（PM）を間違えないようにご注意ください。

画面表示／補足

台所リモコン



台所リモコン



※スイッチを押した瞬間に0秒になります。時報などと合わせて押すと、より正確に設定できます。

※スイッチを押さなくとも、そのまま1分経過すると自動的に設定が完了します。

時刻を表示する

●どちらのリモコンでもそれぞれに操作できます。

運転スイッチ「入」の場合

1



を押す

- ・『現在時刻を表示します』とお知らせし、現在時刻が表示されます。

※給湯使用中は温度を表示します。また、給湯停止後は約20秒後に時計表示に戻ります。

※給湯温度が60℃の場合は、約10秒間現在時刻を表示後に温度表示に切り替わります。

※もう一度スイッチを押すと、『温度を表示します』とお知らせし、温度表示に切り替わります。

運転スイッチ「切」の場合

1



を押す

- ・現在時刻が表示され、約10秒後に表示が消えます。

※運転スイッチ「切」で常時時計を表示させることもできます。（17ページ参照）

※もう一度スイッチを押すと、表示が消えます。

画面表示／補足

台所リモコン



（例：給湯42℃）

浴室リモコン



（例：給湯42℃、ふろ42℃）

台所リモコン



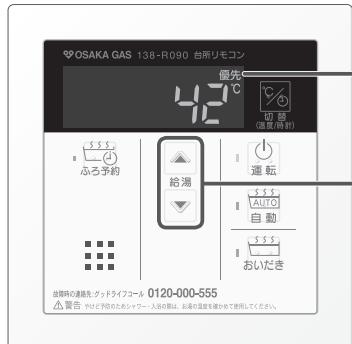
浴室リモコン

お使いになる前に

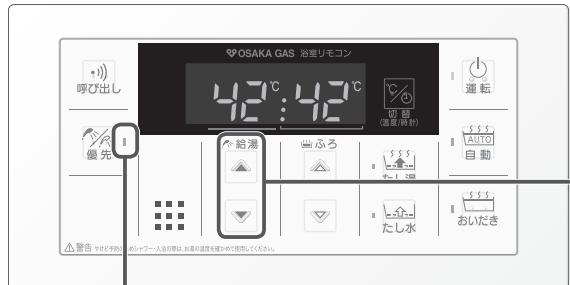
給湯温度を調節する

- どちらのリモコンでも操作できます。
- 運転スイッチのランプ（黄緑）が点灯していることを確認してください。点灯していない場合は運転スイッチを押してください。

台所リモコン



浴室リモコン



1 優先表示を確認する

- ・優先表示が出ている（優先ランプが点灯している）リモコンでのみ給湯温度を変更できます。
- ※点灯しないときは、8ページをご覧ください。

2 ▲ ▼ を押して給湯温度を設定する

- ・▲スイッチを押すと温度が上がります。
- ・▼スイッチを押すと温度が下がります。
- ・『給湯温度を○○°Cに設定しました』とお知らせします。
- ・▲スイッチを押し続けると、45°C以下では連続して変わります。46°C以上に設定したいときは、1回ずつ押してください。
- ・▼スイッチを押し続けると、連続して変わります。

3 給湯栓を開いてお湯を出す

- ・お湯を出している間は、燃焼表示がオレンジ色に点灯します。
- ※お湯を出す量が少ないと、燃焼表示が消えてお湯が水になることがあります。

画面表示／補足

台所リモコン



優先表示が点灯

浴室リモコン



優先ランプ（オレンジ）が点灯

台所リモコン



（例：給湯 41°C）

浴室リモコン



（例：給湯 41°C、ふろ 42°C）

給湯温度の目安

食器洗い シャワー

35	37	38	39	…	43	44	…	48	50	60
----	----	----	----	---	----	----	---	----	----	----

1°Cずつ変更できます

※工場出荷時は給湯温度が42°C設定になっています。

※給湯温度を60°Cに設定すると『熱いお湯が出ます』とお知らせし、表示画面に高温表示（オレンジ）を表示して注意を促します。

台所リモコン



（例：給湯 60°C）

浴室リモコン



（例：給湯 60°C、ふろ 42°C）

台所リモコン



浴室リモコン



⚠ 警告

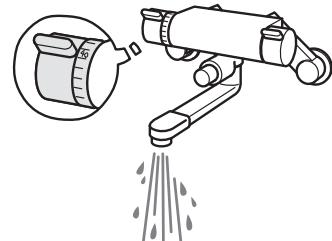
- やけど防止のため、おふろ（特にシャワー）の使用中は、絶対に台所リモコンで給湯温度を変更しないでください。シャワーの温度も変更されます。
- おふろ（特にシャワー）の使用中は、絶対に運転スイッチを「切」にしないでください。お湯が急に水になります。
- 高温でお湯を使用していた直後は、配管内に高温のお湯が残っています。お湯の温度を十分に確認してから、お湯を使うようにしてください。特にシャワー使用時はお気をつけください。

お知らせ

- 夏場など水の温度が高いときに給湯温度を低く設定した場合やお湯の量を絞って使う場合は、設定温度よりも熱いお湯が出ることがあります。
- 給湯やシャワー使用時に、ふろ配管に残っていた水が循環アダプターから出てくることがあります。異常ではありません。
- 給湯温度は運転スイッチを「切」にしても記憶されます。
- お買い上げの際には、お風呂の温度を42°Cに設定してあります。
- おふろへの湯はり中は、リモコンの表示とは異なるふろ温度のお湯が出ることがあります。

混合水栓使用時の注意

- サーモスタット式水栓をご使用の場合、水栓によってはハンドルの設定よりもぬるいお湯が出ることがあります。その場合は、リモコンの給湯温度をハンドルの温度より5°C~10°C高めに設定してください。詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。
- 運転スイッチが「切」の状態で水を使用する場合は、必ずハンドルの設定を「水」の位置にしてください。「湯」の位置で水を流すと、熱源機内が結露して点火不良や故障の原因になります。



[優先]について

- 優先表示が出ている（優先ランプが点灯している）リモコンでのみ給湯温度が変更できます。
- 台所・浴室・洗面所などにあるすべての給湯栓に対して、熱源機から同じ温度のお湯が供給されます。
※どのリモコンにも同じ給湯温度が表示されます。

そのため、お湯の使用中に他の人が給湯温度を変えると、お湯の温度が変わり、やけどをすることがあります。
このような事故を防止するため、どちらか一方のリモコンでしか給湯温度を変えられないようにしています。

例：台所リモコンにて給湯温度を変更した場合



もう一方のリモコンの表示も
「39°C」→「40°C」に変わります。



浴室でお湯を使っていないことを確認してから、変更してください。

- 台所リモコンと浴室リモコンは、それぞれが優先権を持っていた時に設定した給湯温度を記憶しています。優先権が切り替わると、優先権を持ったリモコンの記憶していた温度が給湯温度になります。
- 給湯温度の変更以外は、どちらのリモコンでも優先権に関係なく設定・使用できます。
- 運転スイッチを「入」にした方のリモコンに優先表示が出ます。浴室リモコンの場合は優先スイッチを押すことで、優先ランプが点灯し、優先権を切り替えられます。
- 優先表示のないリモコンで給湯温度を変えようとすると、音声で『給湯温度は変更できません』とお知らせします。

⚠ 警告

- やけど防止のため、おふろ（特にシャワー）の使用中は優先権を切り替えないでください。

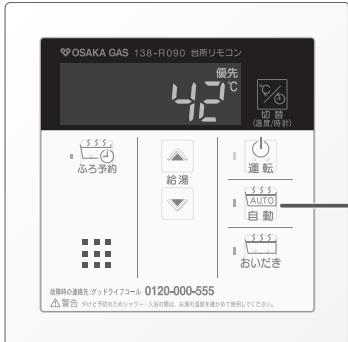
おふろを入れる

自動運転でおふろを入れる

- どちらのリモコンでも操作できます。

- 運転スイッチのランプ（黄緑）が点灯していることを確認してください。点灯していない場合は運転スイッチを押してください。

台所リモコン



浴室リモコン



1 治槽に排水栓とふたをする

2 を押す

- ・『〇〇°Cでお湯はりをします』とお知らせして自動スイッチのランプ（オレンジ）が点滅し、湯はりを始めます。
- ・このとき浴室リモコンのみ、右図のように表示画面に「湯量」が表示され、約10秒間、湯はり量を表示します。
- ・湯はり完了が近づくと、ブザーが鳴り『まもなくおふろが沸きます』とお知らせします。
- ・湯はりが終わるとメロディーが鳴り『おふろが沸きました』とお知らせします。
- ・保温表示中にぬるく感じたときは、[おいたき]スイッチ（12ページ参照）を押すか、ふろ設定温度を上げてください。（14ページ参照）
- ・保温時間（工場出荷時：4時間）までお湯が保温されます。
- ・保温中は自動スイッチのランプ（オレンジ）が点灯します。保温時間が過ぎると、自動スイッチのランプが自動的に消灯します。

お願い

- ・残り湯を排水するときは、自動スイッチのランプ（オレンジ）が消灯していることを確認してから行ってください。

お知らせ

- ・自動湯はりを途中で止めたいときは、再度自動スイッチを押して、ランプを消灯させます。
- ・湯はり中に台所・洗面所・浴室のシャワーなどを使用した場合、お湯の温度はおふろの設定温度（14ページ参照）になる場合があります。また、給水温度や給水圧などの条件によっては、お湯が少ししか出ないことやまったく出ないこともありますが、熱源機の異常ではありません。
- ・残り湯があるときやふろ設定湯量（水位）が少ないときに自動運転をした場合は、完了前のお知らせをしないことがあります。
- ・湯はりを始めるとしばらくは治槽の循環アダプターからお湯が出たり止まったりします。残り湯の量を確認しているためで、故障ではありません。
- ・全自動タイプの場合は、入浴後に運転スイッチを「入」のまま自動スイッチを「切」にして排水栓を抜くと、セルフクリーン運転を行います。（19ページ参照）なお、治槽の排水栓を抜くのはポンプが停止して残り湯の水面が安定した後（自動スイッチを「切」にしてから1分以上経過後）にしてください。
- ・気温や水温によって湯はりが完了するまでの時間が異なります。『まもなくおふろが沸きます』をお知らせしてから湯はり完了までに時間がかかることがあります、熱源機の故障ではありません。

画面表示／補足



※湯はり量の表示例

台所リモコンには表示されません。

湯はり量の変更は15・16ページをご覧ください。

※保温時間などの設定変更は、17～20ページをご覧ください。

湯はりについて

●全自動タイプ

設定水位までふろ設定温度で自動的に湯はりします。
残り湯があるときでも設定水位まで湯はりします。



※設定水位を変更したいときは
15ページをご覧ください。

お湯が少なくなったら

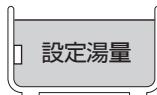


設定水位

保温中は設定水位より約4cm下がると、自動的にお湯がたされます。

●自動タイプ

設定湯量までふろ設定温度で自動的に湯はりします。



※湯量を変更したいときは
16ページをご覧ください。

お湯が少なくなったら



20リットルの
お湯をたします

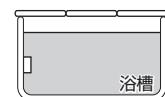


たし湯スイッチを押してお湯をたします。
約20リットルのお湯がたされます。

全自動タイプで残り湯があるときの自動運転のご注意

● 残り湯が十分あるとき

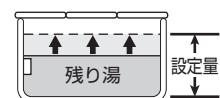
- 湯量が増え、お湯があふれることができます。沸かし直しには、
おいだきスイッチをお使いください。(12ページ参照)



浴槽

● 残り湯で循環アダプターがかくれているとき

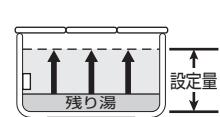
- 沸き上がり湯量は設定量どおりになりますが、多少ばらつく可能性があります。



設定量

● 残り湯が循環アダプターの下にあるとき

- 沸き上がり湯量は設定量どおりになりますが、設定量が少ない(水位が低い)場合は多少ばらつきます。



設定量

自動タイプで残り湯があるときの自動運転のご注意

● 残り湯が十分あるとき

- 湯量が増え、お湯があふれることができます。沸かし直しには、
おいだきスイッチをお使いください。(12ページ参照)



浴槽

● 残り湯で循環アダプターがかくれているとき

- 沸き上がり湯量は設定量どおりになりますが、多少ばらつく可能性があります。

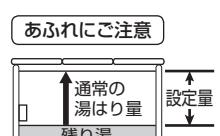
残り湯が設定温度に近いときは、約6リットルだけ湯はりします。



設定量

● 残り湯が循環アダプターの下にあるとき

- 新たに設定量の湯はりをすることもあり、その場合は残り湯分だけ湯量が増えますので、浴槽からのあふれにご注意ください。



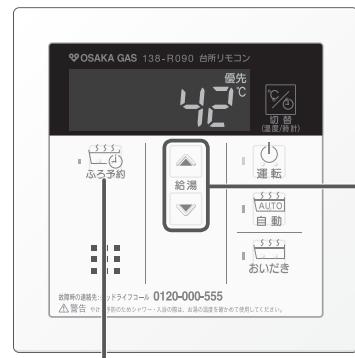
設定量

お願ひ

- 自動湯はり中に水栓などからお湯や水を入れたり入浴したりすると、お湯があふれることができます。自動湯はり中はお湯や水を入れないでください。
- 自動スイッチの入/切を何度も繰り返さないでください。お湯があふれることができます。

- 台所リモコンで操作します。
- 運転スイッチのランプ（黄緑）が点灯していることを確認してください。点灯していない場合は運転スイッチを押してください。

台所リモコン



1 2 3

1 ふろ予約を押す

- ・『おふろの予約を変更できます』とお知らせして
ふろ予約スイッチのランプ（オレンジ）および予約時刻が点滅します。

画面表示／補足



2 ▲ ▼を押して予約時刻を設定する

- ・時刻の設定方法は、6ページの「時計を合わせる」をご覧ください。



3 ふろ予約を押す

- ・『おふろの予約を設定しました』とお知らせして
ふろ予約スイッチのランプ（オレンジ）が点灯します。
- ・ふろ予約スイッチを押さなくても、そのまま1分
経過すると自動的に設定が完了します。



4 沿槽に排水栓とふたをする

- ・湯はりが完了して予約した時刻になると、メロディーが鳴り、『おふろが沸きました』とお知らせします。
- ・保温時間（工場出荷時：4時間）までお湯が保温されます。

補足

- ・毎日同じ時刻におふろを入れたいときは予約時刻の30分以上前に、毎日、手順1・3・4を行ってください。
- ※手順2の予約時刻の設定は、運転スイッチを「切」にしても記憶されますので、毎日の操作は不要です。

お知らせ

- ・予約時刻は、現在時刻より30分以上先の時刻を設定してください。30分以内の時刻に設定すると、予約時刻になども湯はりが完了しないことがあります。
- ・予約運転を解除したいときは、もう一度ふろ予約スイッチを押し、ランプを消灯させます。
- ・予約運転の場合は、湯はり完了前のお知らせはしません。
- ・予約時刻の30分前から湯はり運転を開始します。
- ・沿槽の大きさや設定湯量・湯はり温度・給水圧・給水温などの条件によっては、湯はり完了時刻と予約時刻がずれことがあります。異常ではありません。
- ・沿槽に残り湯があるときに予約運転を行うと、おふろの沸き上がり時刻に大きなばらつきが出ることがあります。異常ではありません。

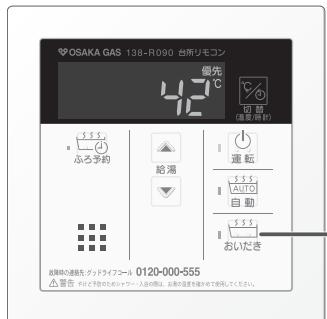
おふろに入って操作する

おいだきする

●どちらのリモコンでも操作できます。

●運転スイッチのランプ（黄緑）が点灯していることを確認してください。点灯していない場合は運転スイッチを押してください。

台所リモコン



浴室リモコン



画面表示／補足

1 浴槽のお湯（水）の量を確認する

- 循環アダプターの上までお湯（水）があることを確認します。

2 「 おいだき」を押す

- 『おいだきをします』とお知らせし、 おいだきスイッチのランプ（オレンジ）が点滅し、おいだきを開始します。

浴室リモコンで操作したとき

- ふろ温度に関わらずガスふろ給湯器は約3分間おいだきします。
- ふろ設定温度以上にならなかつたときは、ふろ設定温度までおいだきを継続します。

台所リモコンで操作したとき

- 『〇〇℃までおいだきをします』とお知らせし、約1分間ポンプ運転した後、ふろ設定温度までおいだきします。
- ※ふろ温度がふろ設定温度以上の場合は、約1分間ポンプ運転後停止します。燃焼表示は点灯しません。
- 沸き上るとメロディーが鳴り、『おふろが沸きました』とお知らせします。
- ただし、自動運転（保温）中はお知らせしません。

お願い

- 循環アダプターからは熱いお湯が出てきますので、身体などに直接あてないようにしてください。

補足

- おいだき中は、循環アダプターから泡が出てくることがあります。
- おいだきを途中で止めたいときは、再度 おいだきスイッチを押してランプを消灯させます。
- おいだき中はランプが点滅し、終了後に消灯します。

お湯（水）が循環アダプターより下にあるとき



浴槽のお湯（水）が循環アダプターより下にあるときは、以下のようになります。

※お使いの熱源機のタイプは熱源機本体の取扱説明書「お使いになる前に」をご覧ください。

●全自動タイプの場合

- 浴室リモコンで操作したとき
約6リットル湯はりした後、自動運転に切り替わります。
※ おいだきスイッチのランプが消灯し、 自動スイッチのランプが点滅します。

・台所リモコンで操作したとき

- 約6リットル湯はりした後、約10分間ポンプ運転します。
その後、リモコンに故障表示「 532」が点滅して停止します。

●自動タイプの場合

- 約6リットル湯はりした後、約10分間ポンプ運転します。その後、リモコンに故障表示「 532」が点滅して停止します。

補足

- ポンプ運転とは、浴槽に残っているお湯をポンプで循環させる機能です。

おふろに入って操作する

おふろに入って操作する

おふろのお湯をふやす

- 浴室リモコンで操作します。

- 運転スイッチのランプ（黄緑）が点灯していることを確認してください。点灯していない場合は運転スイッチを押してください。

浴室リモコン



1

を押す

- ・『20リットルのお湯をたします』とお知らせしてたし湯スイッチのランプ（オレンジ）が点灯し、約20リットルのお湯をたします。
- ・途中で停止したいときは、たし湯スイッチを押します。

画面表示／補足



お知らせ

- ・給湯（シャワー）使用中にたし湯運転をすると、たし湯はすぐには始まらず、給湯を止めた後に始まります。
- ・たし湯運転中に給湯（シャワー）を使用すると、たし湯運転は一時中断される場合があります。また、給湯栓からはふろ設定温度のお湯が出ます。
- ・たし湯運転中は循環アダプターから泡が出てくることがあります。

おふろに入って操作する

おふろをぬるくする

- 浴室リモコンで操作します。

- 運転スイッチのランプ（黄緑）が点灯していることを確認してください。点灯していない場合は運転スイッチを押してください。

浴室リモコン



1

を押す

- ・『10リットルの水をたします』とお知らせしてたし水スイッチのランプ（オレンジ）が点灯し、約10リットルの水をたします。
- ・途中で停止したいときは、たし水スイッチを押します。

画面表示／補足



お知らせ

- ・給湯（シャワー）使用中にたし水運転をすると、たし水はすぐには始まらず、給湯を止めた後に始まります。
- ・たし水運転中に給湯（シャワー）を使用すると、たし水運転は一時中断される場合があります。また、給湯栓からは水が出る場合があります。
- ・たし水運転中は循環アダプターから泡が出てくることがあります。

おふろに入って操作する

おふろの設定温度を調節する

●浴室リモコンで操作します。

●運転スイッチのランプ（黄緑）が点灯していることを確認してください。点灯していない場合は運転スイッチを押してください。

浴室リモコン



1 を押して、ふろ温度を設定する

- △スイッチを押すと、温度が上がります。
- ▽スイッチを押すと、温度が下がります。
- 『おふろの温度を〇〇℃に設定しました』とお知らせします。
- △スイッチを押し続けると、45℃以下では連続して変わります。46℃以上に設定したいときは、1回ずつ押してください。
- ▽スイッチを押し続けると、連続して変わります。

おふろに入って操作する

台所を呼び出す

●浴室リモコンから台所リモコンの呼び出し

音を鳴らして、呼び出すことができます。

※運転スイッチが「入」「切」どちらの場合でも設定できます。

浴室リモコン



1 を押す

- 台所リモコンのスピーカーが『ピーッピピッ』と5回鳴り、『おふろで呼んでいます』とお知らせします。
- 浴室リモコンのスピーカーは呼び出しスイッチを押している間『ピーッピーッ』と鳴ります。

おふろに入って操作する

おふろに入って操作する

おふろの設定水位（湯量）を

- 浴室リモコンで操作します。
- 運転スイッチのランプ（黄緑）が点灯していることを確認してください。点灯していない場合は運転スイッチを押してください。

浴室リモコン



全自動タイプの場合

1

を押し、 を押して水位を変更する

- ・自動運転スタート時、約10秒間表示画面に「湯量」表示され、ふろ温度表示部に湯はり量（水位レベル1～12）が表示されます。
- ・この間にふろの スイッチで湯はり量を変更します。
- ・そのまま約10秒経過すると、自動的に設定が完了します。
- ・おふろを入れない場合は、再度自動スイッチを押してください。

	全自動タイプの水位の目安		
	水位表示	洋バス用設定 A 寸法	和バス用設定 A 寸法
6	レベル 12	29cm	43cm
6	レベル 11	27cm	40cm
5	レベル 10	25cm	37cm
5	レベル 9	23cm	34cm
4	レベル 8	21cm	31cm
4	レベル 7	19cm	28cm
3	レベル 6 (工場出荷時)	17cm	25cm
3	レベル 5	15cm	22cm
2	レベル 4	13cm	19cm
2	レベル 3	11cm	16cm
1	レベル 2	9cm	13cm
1	レベル 1	7cm	10cm

お知らせ

- ・浴槽によっては、高い水位に設定すると、お湯があふれことがあります。

画面表示／補足



水位表示 (6段階)



水位レベル表示 (レベル 12段階)

※水位表示 (6段階) は温度表示時も表示されます。

※循環アダプターからの高さは目安です。浴槽の形状などにより、数cm高くなることがあります。

※洋バス／和バス用の設定は、熱源機本体で切り替えます。設定の変更については、もよりの大坂ガスにご連絡ください。

工場出荷時は、洋バス用設定になっています。

変更する

■ 自動タイプの場合

1

を押し、
を押して湯量
を変更する

- 自動運転スタート時、約10秒間表示画面に「湯量」表示され、ふろ温度表示部に湯はり量（湯量を10で割った数字：リットル）が表示されます。
- この間に、ふろの△▽スイッチで湯はり量を変更します。
- そのまま約10秒経過すると、自動的に設定が完了します。
- おふろを入れない場合は、再度自動スイッチを押してください。

自動タイプの湯量の目安				
水位表示	普通浴槽設定		大浴槽設定	
	湯量表示	湯量（リットル）	湯量表示	湯量（リットル）
一	99	990	70	700
一	40	400	65	650
6	35	350	60	600
6	30	300	55	550
5	28	280	50	500
5	26	260	45	450
4	24	240	40	400
4	22	220	38	380
3	20	200 (工場出荷時)	36	360
3	18	180	34	340
2	16	160	32	320
2	14	140	30	300
1	12	120	28	280
1	10	100	26	260
1	8	80	24	240
1	6	60	22	220

お知らせ

- 浴槽の大きさが340リットルを超える場合は、浴槽内のお湯の温度が一定にならない（熱いところとぬるいところがある）ことがあります。
- お子さまのいたずらなどを防止するため、400、990、80、60リットルは、△または▽スイッチを1秒以上押し続けないと設定できないようになっています。大浴槽設定の場合の550リットル以上に設定するときも同様です。
- 湯はり量を60リットルまたは80リットルに設定したときは、湯はりが完了しても湯はり完了のお知らせおよび保温をしない場合があります。
- 浴槽によっては、湯量を多く設定すると、お湯があふれることができます。

画面表示／補足

浴室リモコン

湯量
: 20

水位表示
(6段階) 湯量表示
(200リットルの場合)

※水位表示（6段階）は温度表示時も表示されます。

※湯量は目安です。

※浴槽の大きさによって普通浴槽／大浴槽の設定を、熱源機本体で切り替えできます。設定の変更については、もよろの大阪ガスにご連絡ください。工場出荷時は、普通浴槽設定になっています。

おふろに入つて操作する

■ 設定変更のしかた

1  を「切」にする

2  を長押し(約3秒間)する

- 項目番号と設定値が表示されます。

3  を押して、変更したい項目番号を表示させる

- 自動スイッチを押すごとに、項目番号が切り替わります。

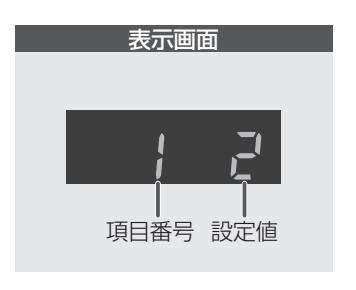
項目番号	設定内容	詳細	操作リモコン
1	音声音量の変更	音声案内の音量を変更することができます。	 
2	省電力モードの変更	省電力モードとは、リモコンの待機電力の低減を目的とした機能です。設定された時間が経過すると、自動的に表示画面が消えます。	 
3	運転「切」のときに、時計表示をする・しない	運転スイッチ「切」のときに、時計を表示することができます。	 
4	おふろの湯はり量の変更	全自動タイプの場合は、循環アダプターからの水位(高さ)を設定できます。 自動タイプの場合は、浴槽に湯はりする湯量の目安を設定できます。	

定変更モード)

4 給湯 (台所リモコン)、
ふろ (浴室リモコン)
を押して、設定値を変更する

5 を長押し (約 3 秒間) で、
設定変更モードを解除する
(設定完了)

- そのまま 1 分間経過しても、
自動的に設定が完了します。



設定一覧

音声	リモコンの表示	音声の大きさ
『音声は大です』	3	大
『音声は標準です』	2 (工場出荷時)	標準
『音声は小です』	1	小
『音声を消します』	0	なし
『音を消します』	—	なし

補足

- 「0」に設定した場合でも注意を喚起する音声は消えません。
- 台所リモコン・浴室リモコンそれぞれ設定できます。

リモコンの表示	表示の消灯時間
25 (工場出荷時)	25 分後
10	10 分後
OF	消灯しない

- リモコンの無駄な電力消費を防ぐため、給湯を使用してから設定時間が経過すると、表示画面が消えて、**運転**スイッチランプ (黄緑) のみ点灯します。
※省電力モードに入ると時計表示も消えます。
※給湯栓を 1 度も開けていない状態では、省電力モードに入らず、表示画面は消えません。
※湯はり運転中および給湯温度を 60℃に設定している場合は、安全のため省電力モードに入りません。台所リモコンは予約中も省電力モードに入りません。
- シャワー・給湯を使用したりいずれかのスイッチを押すと、省電力モードが解除されて表示画面が点灯します。
- 台所リモコン・浴室リモコンそれぞれ設定できます。

リモコンの表示	運転「切」時の時計表示
On	する
OF (工場出荷時)	しない

- 時計表示設定をしているとき、**温度／時計切替**スイッチを押した場合は、時計表示が消えます。
- 台所リモコン・浴室リモコンそれぞれ設定できます。

- 湯はり量については 15・16 ページをご覧ください。

項目番号	設定内容	詳細	操作リモコン
5	保温時間の変更	自動運転や予約運転で湯はりした後の保温時間を変更できます。	
6	セルフクリーンをする・しない	全自動タイプをお使いの場合は、セルフクリーン機能の設定(する・しない)を切り替えることができます。	

セルフクリーン機能について

セルフクリーン機能とは、自動運転や予約運転で沸かしたおふろのお湯を抜いたときに、ふろ配管内に残ったお湯を自動で排水する機能です。

次におふろを沸かすときに、古いお湯と新しいお湯が混ざらず、きれいなお湯で入浴できます。
「**On**」(セルフクリーン機能をする)と「**Off**」(セルフクリーン機能をしない)から選択します。

●セルフクリーン機能を使う

セルフクリーン機能を使用して配管を洗浄します。

① 自動運転(9ページ参照)または予約運転(11ページ参照)でおふろを沸かす

② 運転スイッチ「入」、自動スイッチ「切」になっていることを確認する

- ・自動スイッチが「入」になっている場合は、自動スイッチを押して、「切」にしてください。

③ 水位を確認する

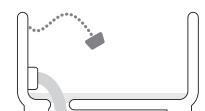
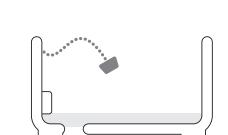
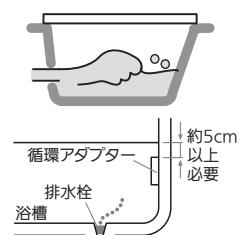
- ・排水栓を抜く前に、循環アダプターの上端から上に約5cm以上の水位があるか確認してください。

④ ポンプが停止して残り湯の水面が安定した後(自動スイッチを「切」にしてから1分以上経過後)に、浴槽の排水栓を抜く

- ・自動スイッチを「切」にしても、しばらくはポンプが回ります。

⑤ 約5リットルのお湯が出て、ふろ配管内のお湯を押し流す

- ・残り湯が循環アダプター付近まで減ると、循環アダプターから約5リットルのお湯が出て、ふろ配管内に残ったお湯を排水します。また、同時に配管の汚れを洗い流します。このとき画面には、自動運転の湯はり中と同じマークが表示されます。



定変更モード)

設定一覧		補足
リモコンの表示	保温時間	
8	8 時間	
6	6 時間	
4 (工場出荷時)	4 時間	
2	2 時間	
1	1 時間	
0	0 時間	
リモコンの表示	セルフクリーン	
On (工場出荷時)	する	• 詳細は下記「セルフクリーン機能について」をご覧ください。
OF	しない	

お知らせ

- セルフクリーン機能は以下の状態で排水したときにはたらきます。
[運転]スイッチ「入」で[自動]スイッチ「切」の状態
循環アダプターの上端より約 5cm 以上の水位がある状態
- [運転]スイッチを「切」の状態で残り湯を排水すると、セルフクリーン機能は作動しません。
- セルフクリーン運転中は表示画面に湯はり中と同じ表示が出ます。
- セルフクリーン運転中に台所・洗面所・浴室のシャワーなどを使用した場合、お湯の温度はおふろの設定温度(14 ページ参照)になります。
- [自動]スイッチを「切」にしてもしばらくポンプが回っています。浴槽の排水栓を抜くのはポンプが停止して残り湯の水面が安定した後([自動]スイッチを「切」にしてから 1 分以上経過後)にしてください。セルフクリーン機能がはたらかない場合があります。

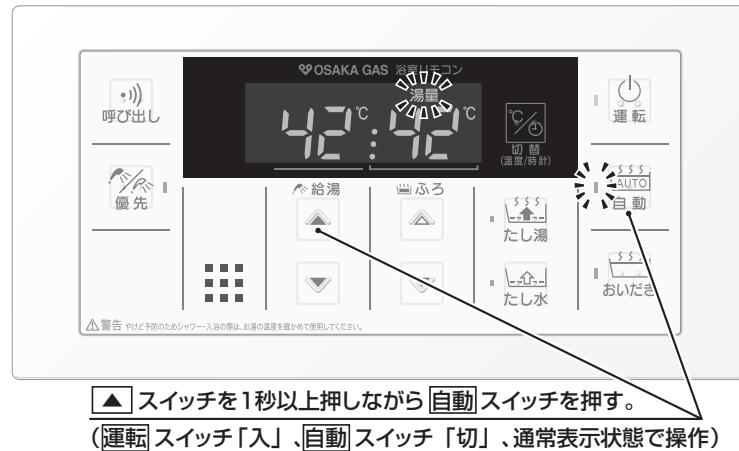
知っておいてください

浴槽データの再設定

増・改築などで浴槽を買い替えた場合や熱源機の設置場所を移動した場合、湯はりの水位が設定水位と大きく異なる場合は、新しい浴槽サイズなどを熱源機に記憶させる必要があります。下記手順にしたがって記憶内容の消去および自動運転の試運転を行ってください。

1. 現在記憶している記憶内容を消去してください

▲スイッチを1秒以上押した後、そのまま▲スイッチを離さず自動スイッチを押してください。
記憶内容は消去され、スイッチを押している間は下図のように自動LED、湯量表示が点滅します。



2. 浴槽の残り湯をすべて排水してください

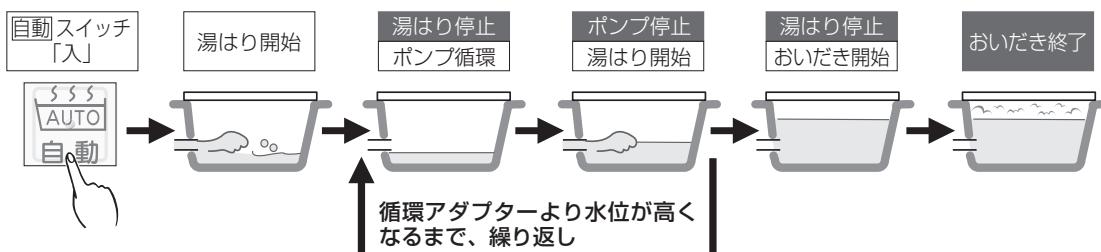
浴槽にお湯が残った状態で以下の操作を行うと、その後湯はり時間が長くかかったり、低い水位設定時に熱源機が作動しないなどの不具合が生じることがあります。

3. 排水栓をしっかりと閉めてください

4. 自動スイッチを押す（「入」にする）と自動湯はりが開始されます

運転中に浴槽には、給湯栓からお湯を入れないでください。
運転中何回か停止しますが異常ではありません。

自動運転のはたらき（例）



試運転の終了まで、20~30分かかります。

5. 自動スイッチのランプが点滅から点灯に変われば試運転完了です。これで浴槽サイズと水位が記憶されました。そのまま保温運転を続ける必要がない場合は、もう一度自動スイッチを押して、自動スイッチのランプ（オレンジ）を消灯させてください

知っておいてください

知っておいてください

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ってもよく調べてみると故障ではない場合もあります。

修理を依頼する前に熱源機本体の取扱説明書「故障かな？と思ったら」をご覧ください。

故障表示が点滅する

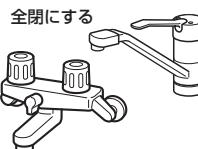
熱源機が故障すると表示画面の時刻表示部に下図のような故障表示が点滅します。

故障表示が点滅した場合は次の操作をしてください。

1 ガス栓と給水元栓が十分に開けてあるか確認します。



2 お湯を使っている場合は、給湯栓を閉めます。



3 運転スイッチを「切」にして、再び「入」にします。



4 再び使用してみてください。

- 上記の操作をしても故障表示が点滅するときは、もよりの大阪ガスに修理を依頼してください。その際は、表示されている故障表示もお知らせください。



故障表示	使用状態										
013	給湯/自動 おいたき たし湯/暖房	130	給湯/自動 おいたき たし湯/暖房	313	自動 おいたき 暖房	521	給湯 自動 たし湯	640	給湯/暖房 自動/おいたき たし湯/たし水	760	給湯/暖房 自動/おいたき たし湯/たし水
032	自動 たし湯	140	給湯/暖房 自動/おいたき たし湯/たし水	321	給湯 自動 たし湯	523	自動 おいたき 暖房	642	自動 おいたき	888	リモコン運転 「入」時
043	給湯/暖房 自動/おいたき たし湯/たし水	161	給湯 自動 たし湯	322	自動/おいたき たし湯/たし水	543	給湯/暖房 自動/おいたき たし湯/たし水	643	自動 おいたき 暖房	900	給湯/自動 おいたき たし湯/暖房
101	給湯 自動 たし湯	162	給湯/暖房 自動/おいたき たし湯/たし水	323	自動 おいたき 暖房	560	給湯/自動 おいたき 暖房	651	給湯/自動 たし湯 たし水	901	給湯 自動 たし湯
102	自動 おいたき	163	自動 おいたき 暖房	331	給湯 自動 たし湯	562	給湯/自動 たし湯/たし水 暖房	661	給湯/自動 たし湯	902	自動 おいたき
103	自動 おいたき 暖房	170	給湯/暖房 自動/おいたき たし湯/たし水	380	給湯/自動 おいたき たし湯/暖房	570	給湯/自動 おいたき 暖房	662	自動 たし湯 たし水	903	自動 おいたき 暖房
	給湯 自動 たし湯	173	給湯/暖房 自動/おいたき たし湯/たし水	390	給湯/自動 おいたき たし湯/暖房	580	給湯/自動 おいたき 暖房	700	給湯/自動 おいたき たし湯/暖房	920	給湯/自動 おいたき たし湯/暖房
	自動 おいたき	190	給湯/暖房 自動/おいたき たし湯/たし水	430	給湯/暖房 自動/おいたき たし湯/たし水	610	給湯/自動 おいたき 暖房	710	給湯/自動 おいたき たし湯/たし水	930	給湯/自動 おいたき たし湯/暖房
	自動 おいたき 暖房	252	自動	432	自動	611	給湯/自動 おいたき 暖房	721	給湯/自動 おいたき たし湯/暖房	991	給湯 自動 たし湯
	給湯 自動 たし湯	290	給湯/自動 おいたき たし湯/暖房	433	給湯/暖房 自動/おいたき たし湯/たし水	613	給湯/自動 おいたき 暖房	722	給湯/自動 おいたき たし湯	992	自動 おいたき
	自動 おいたき	310	給湯/暖房 自動/おいたき たし湯/たし水	502	自動 たし湯 たし水	632	自動 おいたき	723	給湯/自動 おいたき たし湯/暖房	993	自動 おいたき 暖房
	自動 おいたき 暖房	312	自動 おいたき たし湯	520	暖房	633		750	給湯/暖房 自動/おいたき たし湯/たし水		

ご使用の熱源機により、表示される故障表示および使用状態は異なります。

130を表示しているときは燃焼上の不具合が生じていますので、すぐにもよりの大阪ガスにご連絡ください。

101・102・103を表示しているときは、給湯・ふろ・暖房を使うことはできますが、給排気異常ににより十分な給湯能力が出ない状態となります。また、380・920を表示している場合についても、しばらくの期間は給湯・ふろ・暖房を使用できますが、そのまま放置しますと使用できなくなりますので、気が付いたらすぐにもよりの大阪ガスにご連絡ください。

888は長期にわたり機器を使用した場合に表示します。機器点検の案内をしますので、もよりの大阪ガスにご連絡ください。(機器は使用できます)

知っておいてください

■アフターサービスについて

- アフターサービス・保証については、熱源機本体に準じます。
- 保証書は熱源機本体の取扱説明書にあります。
- 当社は、保証書に記載してあるように、熱源機の販売後、熱源機やリモコンに故障がある場合、一定期間の一定条件のもとに、無料修理をいたします。(詳細は保証書をご覧ください)
- 保証書を紛失されると、保証期間内であっても修理費をいただく場合がありますので、大切に保管してください。
- 無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

▲ 危険

ガスくさいときはガス栓を閉め、窓を全開にしてから（火気に注意して）大阪ガスにご連絡ください。



060 00012 61511 1

U338-0181 (00)
160225 K